

議会だより おふせ

No **91**
2018.1.20
発行 長野県小布施町議会



はじめての餅つき「ヨッコラショ」
(町づくり交流部会)

- 新年のあいさつ P2
- 会議報告(12月・10月) P3~4
- 議会日誌(研修会・懇談会参加) P5
- 議会報告会開催・ここが聞きたい12月会議 P6
- 議員一般質問(13名) P7~19
- 小学6年生の議会見学 P20~23

餅つき大会とカレンダーづくりの奮闘記

まちづくり・交流を考える部会

前交流部会長 坂原 広重



町内の皆様のご協力でもの待ちの餅つき大会を暮れに行ないました。昔は、朝早くから「ペタン・ペタン」の音がどこかしこから

聞こえてきた原風景。最近、イベント以外なかなか見ることが出来なくなりました。今回も藤岡牧夫画伯との共催で60余名の親子さんの参加をいただきました。先生

聞こえてきた原風景。最近、イベント以外なかなか見ることが出来なくなりました。今回も藤岡牧夫画伯との共催で60余名の親子さんの参加をいただきました。先生

ほど良い時間になり、部会員とボランティアがつき上った餅を事前に準備した「あんころ餅・きな粉餅・大根のおろし餅」を口いっぱいにはうばる子、何回もおかわりする子など、大変な賑わいでした。餅つきは、元気な子や、うながされて初めて餅つきをした子などなど大きくて

おもい杵(し字形)を臼の真中に打ち込むのも子ども達には大変至難の技。ましてや粘りの増した餅を杵から引き離すのは大人の男性の力を借りてよろよろしながらようやく餅がつき上がるところの実感が出来たはず、良い思い出になったことでしょう。



餅つきの方法を教えてもらいました



ガンバってます



みんなで作りました今年のカレンダー

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、荒井広宙さんの世界陸上での銀メダル獲得、アジアで初めて開催のスラックラインワールドカップの開催、大英博物館での北斎展の開催など、明るい話題が多くありました。

今年は戊戌。干支の特徴として、新たなものを生み出すスタートの年とも言われています。

新たな課題に向け、一年頑張っていきたいものです。

発行責任者		議 長	関 悦子
議会広報常任委員会		委員長	福島 浩洋
		副委員長	小西 和実
		委員	富岡 信男
			小淵 晃
			渡辺 建次
			小林 正子
			関 悦子

12月会議

総務産業常任委員会

- 平成29年12月会議の概要
- 一般会計補正予算1億6,400万円を追加し総額52億4,300万円としました。
 - 財産管理費 計 6,235万7千円
 - ・土地開発公社伊勢裏用地売却事業補助金 4,700万円
 - ・ふるさと納税事業費、ふるさと応援基金積立等 1,500万円
 - 戸籍住民基本台帳費 計 220万円
 - 社会保障、贅番号制度システム整備委託料
 - 保育園費 54万9千円
 - わかば保育園・つすみ保育園の消防設備等の修繕費
 - 農地費 626万4千円
 - 多面的機能支払交付金
 - 道路新設改良費 1,000万円
 - 町道227号線の舗装工事
 - 公園費 5,872万5千円
 - 雁田字宮林公園用地購入費
 - 公債費 4,300万円
 - 繰上償還元金
 - ◎保育園費人件費1,500万円程の比較的高額な減額補正の理由は何か。
 - ▲当初予定していた採用が本人の都合で取り下げになったため減少したためです。
 - ◎複合型介護施設の備品購入費の補正を行う理由は何か。
 - ▲県の指導による予算の組み換えを行ないました。
 - ◎雁田地区公園用地の管理は、今後どのように考えているのか。
 - ▲ボランティアの皆さんにお手伝いを頂いて行っていきたいと考えています。
 - ★防災行政無線同報系デジタル化更新整備工事請負契約の変更

- (Jアラート新型受信機の増工に伴う工事費の増額206万1,720円を追加し、変更後契約金額5,800万5,720円)
- ◎単独工事の場合とどれ位差額が生じるのか。
 - ▲130万円弱安くなる見込みです。

社会文教常任委員会

- 国民健康保険特別会計
 - 一般管理費 77万5千円
 - (通信運搬費等)
 - ◎医療費通知の発送の、変更に至った理由は
 - ▲医療費通知を6か月毎から3か月毎に変更したものです。
 - ◎医療費通知に明細を記載できないか。
 - ▲県の指導内容で行っている。今後国民健康保険連合会へも相談していきたい。
- ★北信保健衛生施設組合の斎場事業から長野市が離することに伴う財産処分の協議
 - ◎土地を無償で譲渡する理由は
 - ▲長野市と組合の協議で決定していることです。
- ★北信保健衛生施設組合規約の変更(斎場事業について、長野市豊野町分が離脱することに伴い、組合規約で定められた斎場事業及び経費の支弁対象から長野市を除くもの。)

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任
中込良雄氏を再任(東町66才)任期3年



町民の皆さんと共に

新年明けましておめでとうございます。
平素から議会に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
小布施のまちづくりは、今、「協働」「交流」「若者」がキーワードになり、いくつかの先進的で、多様な取り組みが進み、内外から注目されています。
一方、近年、議会は大きな課題を抱えています。それは、過去2回の議会議員選挙が無投票であったことです。「議員のなり手不足」の問題は、全国各地で議論されていますが、それぞれの地域で、住民の皆さんと共に、真剣に考えて行かなければならない喫緊の課題であります。

議長 関悦子
当議会では、「議員定数等検討特別委員会」を設置し、調査、検討を進めてまいりました。また、各自治会の皆さんとの懇談会、各種13団体の皆さんとの懇談会、議会報告会など、いろいろな場面で、ご意見を伺ってまいりました。

「うちづくり」は、住民主体で進んでいかなければなりません。これからは、皆さんと共に考えていくことを改めて新年の決意とし、議会活動を進めてまいります。



山崎博雄 事務局長	小林正子 議員	渡辺建次 議員	小林茂 議員	山岸裕始 議員	富岡信男 議員	中村雅代 議員	小松文子 書記
政策立案常任委員長 関谷明生 議員	総務産業常任委員長 小林一広 議員	監査委員 大島孝司 議員	議長 関悦子 議員	副議長 川上健一 議員	議会運営委員長 小淵晃 議員	社会文教常任委員長 小西和実 議員	議会広報常任委員長 福島浩洋 議員

10月会議

平成29年10月2日に開催し、一般会計補正予算（第6号）の歳入・歳出それぞれ499万7千円を追加し、予算総額を50億7,908万1千円とする

もので、衆議院議員選挙に関する経費を計上したものです。

平成30年度 予算要望書

平成30年度予算要望書を町長に提出

町議会では、議員間で討議を重ね、平成30年度の予算編成にあたり、市村町長に次のとおり要望書を10月19日に提出しました。

- ① ブランド戦略事業、パワーウォキング、若者会議の事業において、マンネリ化、参加者の減少等が生じていることからその成果・継続の是非等を検討されたい。
- ② 昨今の大雨・集中豪雨等により全町的な雨水対策が必要であることから、上流部・中流部・下流部のバランスの取れた整備を実施するよう要望する。
- ③ 排雪については、迅速な対応が必要であることから、住民生活に支障がないようあらかじめ排雪について当初予算の確保を図られたい。

- ④ 公共施設等総合管理計画事業実施については、平成30年度中には一定の方向を見出し、国の財政措置である公共施設等管理推進事業債も視野に入れ、事業の予算化を検討されたい。
- ⑤ 町税等の未納額が増加、不能欠損処理が行われているが、未納額の増加が生じないように滞納整理プロジェクト会議を充実強化し、滞納者との折衝や納付相談に積極的に取り組まれたい。
- ⑥ 各種がん検診において、胃カメラ及び大腸カメラの検査ができるよう検討されたい。
- ⑦ 運転免許証返納者が増加する中、高齢者等への交通支援体制を検討されたい。

12月会議において2常任委員会の審議



社会文教常任委員会



総務産業常任委員会

議会日誌

須高市町村議員研修会

(10月31日)

須高市議会主催により、須高市町村議員研修会が開催されました。県立信州医療センター（旧県立須坂病院）を視察し、最新設備等も含め幸田センター長より同センターの概要および現状の説明を受けました。高度専門医療の提供、医師確保と研

修の状況、二次医療圏での同センターの役割と課題などについて説明を受けました。

指定管理制度の視察 諏訪市立 原田泰治美術館

(11月2日)

指定管理制度の研究のため、諏訪市原田泰治美術館を視察しました。同館は市の生涯学習美術館として、平成22年度より民間活力を導入し一層のサービス向上を目的に指定管理制度を導入しました。更新期間は5年と定めて運用を始めた。



今後の新体制について、センター長より

視察では、原田泰治画伯に諏訪市における導入の経緯と運営の現状を説明していただきました。

会派及び政務活動費の視察 軽井沢町議会

(11月2日)

会派及び政務活動費の事例研究のため、軽井沢町議会を視察しました。同議会は県内の町村議会の中では最先端モデルの議会です。同議会は、政策提言を行うため平成10年4月1日に内規によって会派の立ち上げを行いました。会派の設立当初はかなりの提言を行政側へ行ったが、その後内規の改正を何度か行い、現在は各常任委員会において新年度予算の編成時に政策要望提言を行うことが主流となっています。



会派立ち上げと政務活動費について担当議員より

の代表質問権は交渉会派3人以上のためそれぞれ工夫をしているとのことでした。政務活動費については平成25年に各議員一

中学校長及び教育委員との懇談会

(11月21日)

今年度は中学校との懇談及び授業参観も含めた教育委員会との懇談会を行いました。開催あいさつのあと、中学校の給食の試食として、中学生と同じメニューの学校給食をいただきました。



栄養を考えた昼食をいただきました



授業の進めかたについて教頭より説明

その後、懇談会を開催し、校長、教頭より懇談会資料を基に教育の在り方や今後の方針などの説明を受けた各議員からもいじめや教員の教え方、日頃の接

A 創生総合戦略」の施策の方向性「結婚・出産・子育て環境づく

Q での平成30年度の予算編成について伺います。

A 北斎74歳の時の「富嶽百景」の跋文（あとがき）に次のように述べています。「70歳までに描いたものなど取るに足らないものばかりだ。73歳になって生き物の骨格や草花の成り立ちをいくらかは悟った。80歳になる頃にはもう少

A 北斎が脚光を浴びる中、改めて町内の作品の評価を高めるため、国、県等に指定文化財としての要望を進めてまいりたいと思います。

A 現在の経常収支比率が90%であることが、直ちに財政逼迫を意味するとは言えないと考えています。

Q 北斎の作品によって影響を受けたとされる西洋の芸術家として、ゴッホ、モネ、ロートレック、スーラ、ガレ、セザンヌなどが上げられています。また、アメリカの「ライフ」というフォトジャーナル誌が「過去千年の間で最も重要な人物はだれ？」という調査を行い、上位百人のランキングを発表しています。その結果、1位エジソン、2

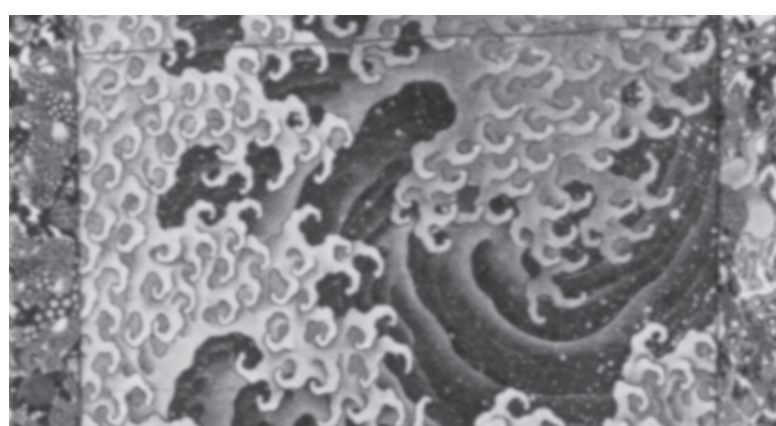
位コロンブスなどアメリカにゆかりの偉人が上位を占める中、日本人で唯一葛飾北斎が選出されています。

し私も進歩するだろう。そして90歳になる頃には奥義を極め、百歳になったら神業の域に達するであろう」と。祭り屋台は86歳頃、岩松院天井絵は88歳頃の最晩年の作品だと言われています。以上の3作品の重要文化財と県宝への指定について伺います。

Q 平成28年度の経常収支比率は89・8%となっています。経常収支比率は「地方財政のエンゲル係数（生計費中に占める食費の割合。一般にこの係数が高いほど生活水準は低いとされる）」とも呼ばれ、投資へのゆとり度を示すものです。一般的には、65%〜75%が適正、75%〜85%がやや弾力性を欠く、85%〜95%は弾力性を欠くとされています。

Q 既存の公共施設の維持、縮小あるいは廃止対象となるものは。

A 平成30年度に「公共施設等管理検討委員会（仮称）」を設置し、個別施設計画の原案を策定していきます。



学術的価値は“並”でない「浪図」



渡辺建次議員

中條総務課長補佐

財政硬直化の要因と行政サービスに及ぼす影響は

引き続き経常収支比率の改善に努力します

議会報告会の開催

平成27年6月、議会内に「議員定数等検討特別委員会」を設置して、議員定数、議員報酬、政務活動費の適正なあり方について2年にわたり、調査、研究を重ねてきました。

また、この間、各自治会、各種団体、成人式に参加した方々などと意見交換会を開催し、調査、研究の経過報告をし、様々なご意見をいただいております。

このような経過を踏まえ、平成30年1月10日に、議会としての意見を集約しました。

○議員定数…14人の議員定数は現状維持

○議員報酬…全国的な平均値に近付けるよう増額を検討

○政務活動費…継続して検討

つきましては、結論に至った経過と内容について次のとおり説明会を開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

日 時・2月16日（金） 午後6時30分

場 所・小布施町役場 公民館講堂（3F）

ここが聞きたい？

目 次

渡辺 建次……………7	小林 茂……………13
(1)財政硬直化の要因と行政サービスに及ぼす影響は	(1)本人通知制度の進捗は
(2)「祭り屋台二基（上町・東町）」を重要文化財に、「岩松院天井絵」を県宝に	(2)新元号施行時のシステム改修は
関谷 明生……………8	小林 一広……………14
(1)森林税が財源になった10年間の森林づくり推進支援金の活用実績は	(1)すべての子育て家庭へ支援を
小西 和実……………9	大島 孝司……………15
(1)犬のふん被害への対応を	(1)平成30年度予算編成方針は
富岡 信男……………10	(2)インバウンド受入態勢は
(1)市街化調整区域の開発推進を	中村 雅代……………16
小淵 晃……………11	(1)中学生の部活動の在り方は
(1)総合公園の繁茂する樹木の適正管理（間伐）を	川上 健一……………17
(2)好評なドックランゆえに再点検を	(1)千曲大橋建設と小布施橋の補強について
福島 浩洋……………12	(2)獣害対策について
(1)雁田配水池更新・新計画の実施はいつに	小林 正子……………18
(2)小中学生の朝食の実態調査は	(1)高齢になっても安心して住みつけられる小布施町に社会保障・福祉の本筋から対策を考えてほしい
	(2)高齢者の免許返納に対策を
	山岸 裕始……………19
	(1)小布施町子ども・子育て支援計画の周知を



関谷明生議員

森林税が財源になった10年間の森林づくり

竹内産業振興課長

緩衝帯整備事業・木製ベンチ作成事業・平地の松くい虫対策に450万円受領実施

Q

長野県森林づくり県民税（森林税）は先人が育ててきた森林を健全な姿で次の世代に引継ぎ森林の恩恵を受けている県民みんなで森林づくりを支える財源として村井仁前知事が平成20年に導入し、阿部守一知事も継続し来年3月末に課税期間が終わります。個人の納税義務者は県民全員ではなく、県民税均等割を納め

ている方です。今年度の本町の納税義務者数は何名ですか。雁田山の公有林と私有林の割合はどうですか。10年間の森林づくり推進支援金の活用実績は、今年度の松枯れ、ナラ枯れの被害状況を伺います。

A

森林税納税義務者は五千五百七十二名の方々に負担していただいています。森林簿での雁田山の森林総面積は257・3haに対して私有林が99%の254・8ha、公有林は1%の2・46haになっています。



紅葉が彩る晩秋の雁田山

森林税を財源とした事業では野生鳥獣との住み分けを図る里山緩衝帯整備事業、良好な森林づくりの参加を促す啓発事業として行われている間伐材を利用した木製ベンチ作成事業、平地における松くい虫対策にこれまで400万円配分されています。また平成26年には森林に親しみ啓発を図る人材

Q

住民税額決定納税通知書に県民税均等割2000円が明記されています。裏面の町民税・県民税の賦課で均等割に『県民税均等割2000円のうち500円は「長野県森林づくり県民税」として「みんなで支えるふるさと森づくり」のために皆様からご負担いただくものです。』と記載されています。

超過課税の森林税であり意義役割、使命を醸成するためにも納付書の表面に明記すべきと考えますが見解を伺います。

A

納税通知書は地方税法で記載すべき事項が定められています。森林税は県民税ですが町民税と合わせて徴収することになっています。超過課税の目的や啓発は使用する部署で行うことになっています。表面に記載可能か印刷出来るか検討します。



森林税で間伐した旨の案内板



玄関口である駅周辺にも放置されていた

Q

住民の方々から長年にわたって度々「お叱り」を頂いているため、今回は犬など動物のふんの問題について質問させていただきます。特にこの半年間くらいの間は、この件について小布施町の駅や小学校周辺における事例のお叱りを頂く機会が多くありました。

先日改めて実際に駅から小学校



小西和実議員

犬のふん被害への対応を

三輪健康福祉課長

しっかりと対応を検討する

周辺まで歩いて現場確認を行ったところ、数件のふん放置の現場を発見しました。

確かに小布施町は観光地でもあります。町外から観光を含めて多くのお客様が小布施町には訪れてくださいます。

まちづくりで有名な小布施町は、景観にも非常に気を配っていて美しい町並みにしているという感じが概が大変素晴らしいと思われる。

しかし、犬のふんが道路や歩道に放置されていると度重なる苦情を町民の方から伺う機会が多いのが現状です。

きれいで住みやすい小布施町であるために、犬のふん被害への対応を強化していくべきと考えます。

具体的には、京都府宇治市で取り組んで成功した「イエローチョーク作戦」というものが参考になると思われますが、小布施町

A

布施町廃棄物の不法投棄の防止に関する条例第9条に飼い主の遵守事項がうたわれています。引き続き同報無線や町報などで、犬を飼っている皆さんにこのことを守ってもらうように広報をします。

この条例では、調査、勧告、命令、公表ができるので、ふんを放置した飼い主が特定された場合には、厳正に事務手続きを進めます。宇治市で取り組んでいる「イエローチョーク作戦」も参考にしたいと思っています。

町でもふんの被害が多いエリアを設定し、住民の皆さんのご協力を頂く中で取り組みができないか検討したいと思っています。

犬の登録頭数は年々減少していますが、依然として一部の飼い主によるモラルの欠如やマナー違反



駅前通りや小学校周辺にも複数放置されていた

Q

具体的には新しく条例の制定や仕組みづくりが必要になると考えられます。小布施町の住民のみなさんがもっと暮らしやすい環境にいくために、条例や仕組みづくりの検討をしっかりとお願いしたい。

A

具体策についての検討も含めて、住民のみなさんのためにしっかりとこの件についての検討を進めていきます。



富岡信男議員

市街化調整区域の開発推進を

久保田副町長

一層の人口増加策に取り組みます

Q

小布施町では、恵まれた自然空間と都市景観の共存を図るため、昭和44年に須坂市とともに須坂都市計画区域として都市計画の指定を受けています。

都市計画法では、都市の無秩序な市街化を防止し計画的に市街化整備を進めるために、優先的に市街化すべき区域（市街化区域）と、当面できる限り市街化を抑制すべ

き区域（市街化調整区域）に分けることができ、これを区域区分制度（線引き制度）と呼んでいて、県内では、長野市、須坂市、小布施町、松本市、塩尻市の4市1町で区域区分が定められています。

市街化区域内では、市街化開発事業や都市施設の整備を積極的に行うほか、民間の開発行為も一定の基準に適合するものであれば許可されます。

一方、市街化調整区域内では、特定の場合を除いて開発行為、建築行為は制限されます。この結果、市街化区域内人口は増加していますが、市街化調整区域内の人口が減少する状況が全国で起きています。

市街化調整区域内の開発を



長野県内でも、線引

き市町村では、市街化調整区域内の人口が減少し、少子高齢化の進行、核家族化、農家数の減少により今後も人口の減少が見込まれています。

このような状況の中、長野県では、平成16年に市街化調整区域の活性化のため、一律規制による開発抑制を見直し、農村集落が自律的に存続していくための適切な土地利用を地域が主体的に考えていけるよう、都市計画法に基づく開発許可の基準に関する条例を定め、市町村が地域の実情に即して開発要件の緩和及び景観条例等による規制を行うことにより、指定区域内での開発要件を緩和することができるようになっています。

小布施町では、平成18年に町内8地区が区域指定を受けています。地域指定申請では、市街化調整区域の良好な農村集落の形成、コミュニティの維持を図るため、線引き当時の人口を目標に開発を

進めるとしています。市街化調整区域内の人口増加を図るため、積極的に取り組むべきと考えますが、対応について聞かせてください。

A

平成18年の区域指定後、平成28年度までの指定区域内の住宅新築件数は66件、1年間に6件ほどになります。66件のうち町外者の申請は28件となっています。

指定区域は市街化調整区域で、市街化区域に比べて地価は安いですが、景観形成重点区域で一定の規制など住宅建設上の事務手続きが煩雑であることから建築を断念するに躊躇していることも考えられます。

改めて指定区域の意義、具体的な基準や手続きなどについてお知らせするとともに、住宅建設を希望される皆さんを対象に説明会を開催します。

町報で移住定住の特集を組み、指定区域の詳しい説明、移住・定住をPRする冊子への掲載、町ホームページの移住情報のコーナーに指定区域の情報をわかりやすく掲載し、指定区域の住宅建設、人口増加に一層努めていきます。



小淵 晃議員

総合公園の繁茂する樹木の適正管理（間伐）を

畔上建設水道課長

造園企業・樹木医などに相談をして対応します

Q

「小布施総合公園」が開設されたのが平成12年です。今年で17年目になりました。その間、樹木は成長を続けており幹は太くなり枝も伸び大きな木になりました。

樹木のゾーンに入りますと一筋の陽ざしの差込む余地がない程、樹木が茂っている場所もあります。樹木が繁茂しすぎて植物の生態

系に変化が出てきています。

陽当たりが悪いと日照時間不足で花芽が形成できず、花が咲かない花木。また炭酸同化作用が不十分なため本来の色鮮やかな紅葉にならない木も多くあります。

①公園内の樹木ゾーンの面積はどれ位で、そこに植樹されている樹木は推定で何本位ですか。

②植物の生態系の回復と、併せて利用される皆さんに爽やかな緑と紅葉を提供できる公園にするため、専門家と相談をされ、間伐をすることを提案します。

A

①公園の面積は約14・6ヘクタールで、内10ヘクタール程に植樹されています。中・高木が約3千本、低木を含めると4千本以上の樹木が植えられています。

②ご指摘のように、かなりの年数が経過し樹木もかなり成長していますので間伐や枝払いなどの対応が必要な時期に来ているように

感じています。

ご提案のように町内の造園企業の方や樹木医など専門の方に今後の対応を含め相談し、出来る限り取り組んでいきます。

好評なドッグラン

ゆえに再点検を

畔上建設水道課長
施設管理などを
再点検します

Q

愛犬がリードを放し自由に走り遊べる場を、また愛犬と一緒に旅をする方も多く、そんな愛犬家を小布施にお迎えできたら等の想いから、平成19年6月議会会の一般質問で「ドッグランの新設」を提案し、平成21年7月にはオープンしました。

以来8年間、町内と近隣の愛犬家に大好評でご利用をされてきました。

①樹木の繁茂によりドッグラン



ドッグランは犬の社交場

エリア内の土砂が乾かず、泥にまみれて愛犬が汚れるので、川砂を敷き、樹木の間伐を。

②エリア内に設置してある木製ベンチは好評ですが、木製ゆえに傷みもあり一部補修を。

A

①樹木が成長しドッグランエリアに陽が差し込まず、土の乾きが悪い状態も見受けられます。年に数回ドッグランサポーターズクラブのご協力で砂敷きを行っています。

樹木の間伐や枝切り等、より良い環境にしていきます。

②傷んでいるベンチは修理をし、修理できないものは計画的に更新をしていきます。



樹木がいっぱい 陽かげが多い



福島浩洋議員

雁田配水池更新・新計画の実施はいつに

市村町長

平成32年度に更新工事着手をしたい

Q 老朽化に伴う更新新計画の技術的なことも含めて手続きの進捗状況を広く町民に説明する時期はいつになるのか。

A 改めて中長期的な視点に立ち各種の基礎調査の結果を踏まえ小布施町水道事業ビジョンの策定、小布施町水道事業経営戦略の策定を進め、経営計画、資金計画を策定し、配水池更新事業



老朽化が目立つ配水池施設

費を算出していく。平成30年度の上半期で経営計画、資金計画を策定。建設改良積立金が事業実施期には6億円程の見込み、事業費が積立額と補助費を上回る時には企業債の活用も皆さんに説明する中で実施していきます。整備事業費を明確にし平成30年度末にプロポーザルで提案を、31年度にはいただいた提案を議員・町民皆さんに説明し、意見等を反映し最終計画を策定、変更事業認可の申請をし32年度中に着工していきます。

Q 松川氾濫や雁田山崩落の被災を想定すれば適所に堅固な堤防や擁壁の構築は必須になるのでは。

A 各配水池と松川との高低差が8メートルあり影響が無いと思われるが、専門家と検討します。雁田山においては県の土砂災害警戒区域外のことから考えていません。

Q 計画地内における公園等、開放土地利用は、どのようにになるのか。

A 管理区域は、原則立入禁止であるが、最終計画が決定した後に、現在の敷地にある浄水設備や導水管等の整備と併せ利用の検討を考えます。

小中学生の朝食の実態調査は

中島教育長

場合によっては地域の方々にも、みんなで少しずつ力を出し合って支える環境を

Q 朝食を食べて来ることは今後も教育委員会が指導していくのか、あるいはPTAや保護者、先生方に一任するのか。

A 2学期中は、様々な場面を通して児童生徒に教員から朝食を食べてこないと学習や生活また体調にどんな悪影響があるか、の指導を重ねるとともに、保



朝ご飯、食べてきました！

護者の皆さんに対しても同様にチラシ等を用いて朝食や食事のバランスの重要性を周知してきました。3学期から補助食を提供する対応を実施します。

さらに、学校、教育委員会、場合によっては地域の方々にも担い手となっていただき、みんなで少しずつ力を出し合って子どもたちを支えていけるような環境を整えていきたいと考えています。



要綱を制定し、4月1日から施行予定



小林 茂議員

本人通知制度の進捗は

三輪健康福祉課長

「被害告知型」で4月から施行

Q 本人の代理人又は第三者が住民票の写しや戸籍謄本等の不正請求や不正取得等による個人の権利侵害の防止を図ることを目的とした「本人通知制度」の取組み経過と進捗状況は。

A 本人通知制度については、多くの市町村から国に

対して法整備の要望を求めています。様々な議論があり現時点では進んでいません。したがって、本人通知制度の導入については、要綱を制定するなど各市町村の判断により実施しています。この制度には「事前登録型」「被害告知型」「委任状型」の3つのタイプがあり、メリットとデメリットがあります。当町には、近隣の須坂市や

中野市が導入している「被害告知型」が一番適していると考えます。要綱を制定して4月1日から施行します。

注）「被害告知型」本人通知制度とは、戸籍や住民票が不正に取られたことが分かった場合、登録しているかどうかに関わりなく本人に知らせる制度です。

新元号施行時のシステム改修は

西原企画政策課長

改元にむけて検討を始めた

Q 政府は天皇陛下の退位日を2019年4月30日とし、皇太子さまが翌5月1日に新天皇として即位して、その日に新しい元号を施行することで最終調整に入ったと報じられています。

町の改元対応に要する期間、システム改修や帳票類の変更等に要する費用は。その費用の負担元は。

A 電算システムの主要な契約している事業者ではシステム改修の検討を始めているとのこと。したがって、新元号施行時にはシステムの入れ替えが完了できているものと考えます。

改修に伴う費用等は保守契約の範囲内で新たな費用負担はない予定です。

一般会計金銭出納簿					
至平成24年12月31日					
目	内 容	収入金額	支払金額	差引残高	備考
長野信金振込	10月分 15	33,413		3,350,332	自受
長野信金振込	10月分	787		3,351,119	自受
自治会費	信金10月分 50×15		787	3,350,332	自支

自治会のソフト改修費用等は改めて検討を予定

Q 自治会の会計ソフト等の改修費用に対する補助は。その際、元号と西暦のどちらを推奨しようとしているのか。

A まちづくり活動補助金交付要綱またはコミュニケーション振興対策事業補助金交付要綱には、ソフトウェアに対する補助についての規定は設けていません。多くの自治会で事務処理に大きな影響があり、多額の費用負担が発生するような場合には、どのような支援ができるか改めて検討させていただきます。

元号と西暦のどちらを推奨するかは、自治会の皆さんが使いやすいものを選択することが望ましいと考えております。



小林一広議員

すべての子育て家庭へ支援を

中島教育長

エンゼルランドセンターや一時保育の充実を図ります

Q

零歳児から三歳未満児の育児において「三つ子の魂百までも」と言うように三歳未満児の養育は、言語力や人格、情緒など人間の根底となる部分が形成される、とても大切な時期であると言われております。この大切な時期に色々な環境において十分な対応が特に重要であると感じております。

現在、国では一億総活躍社会のもと、幼児教育の無償化を検討しております（十二月八日に閣議決定）これは働く女性にとって、精神的、経済的にも心の余裕が持てるとても重要な施策であると考えます。

また、落ち着いた気持ちの中で仕事、子育てができる環境づくりに也非常に大切なことと思います。一方、家庭で自ら子育てをしたいと考える方もいらっしゃると思います。そういった子育て家庭への支援も当然必要かと考えます。

町の在宅子育て家庭への支援はどのような事業があるのか。またどのような認識をもって行っているのでしょうか。

A

エンゼルランドセンターでは就学前のお子さんと保護者の方に交流の輪を広げながらご利用いただき、保育士が常駐しているので子育てに関する様々な相談をお受けしています。また、一時的にお子さんをお預

かりする「一時的保育事業」を行っております。

Q

他県では家庭教育支援条力に注目している。最近指摘されている保護者の養育力低下への支援、対応はどのようにしているのか。

A

具体的な行動がとれるように、保護者や児童生徒に啓蒙していくことが、養育力向上の支援になると考えます。

Q

幼稚園・保育園への無償化は考えられているが、子育てを家庭において行っている方への新たな直接的な援助は考えられないか。

A

幼児教育無償化に対応するような直接的な負担軽減策は検討しておりません。基本的には金銭的な給付ではなく、エンゼルランドセンターや一時保育などの事業の充実を図っていくことが肝要であると考えています。



元気な赤ちゃん

Q

小布施独自の子育て支援は、小布施町の定住促進にもつながると思いますが町長に伺います。

A

議論をしていく中で、子育ての現状を見させていただき、実態を調べて対応を検討。いずれにしても小布施町での子育て支援はとても重要であります。



未来を担う子ども達



平成27年～29年まで「ここに使います ことしの予算」

Q

平成30年度予算の基本方針及び重点施策は何か。また重点施策の詳細項目の中で特筆すべきもの、新規のものは何か。少子高齢化、人口減少が進み、町税の伸びはなく、交付税は抑えられてきている一方、保険医療などの扶助費や公共施設の管理費が増加して財政状況の悪化が心配されますが、平成30年度の歳入歳出の



大島孝司議員

平成30年度予算編成方針は

田中総務課長

総合戦略の施策の方向性に沿って
予算編成を行ってまいります

総額をいくから見込んでいるのか。

ここ数年、災害などいざという時の蓄えである財政調整基金を取り崩し、必要な事業を実施している状況が続いているが、29年度の積立額、30年度の取り崩し額をいくから見込んでいるのか。22年度の9億2千万円をピークに毎年減少し続けて28年度には2億6千万円まで減少した。全国的にみると財政調整基金の適正額は標準財政規模の10%とされているが、当町の適正額をいくらとみているのか、現状との差額をどのように修正していくのか。「小布施町公共施設等総合管理計画」は30年度予算でどのように取り組んでいくのか。国道403号整備の30年度予算での取組み状況はどうか。

A

「小布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策の方向性に沿って予算編成を行っています。一般会計当初予算の総額は43億45億円です。予算編成を

インバウンド 受入態勢は

市村町長

住民主体の町づくりを進めることで情報発信に取り組む

Q

2013年に訪日外国人旅行者数が1千万人を超えたあたりから「インバウンド」という言葉が頻繁にメディアに出るようになりました。昨年の訪日外国人旅行者数は2千4百万人に急増しました。政府の目標とし

行い、財政調整基金からの繰入を1億5千万円以内に抑えていく。平成30年度には「公共施設等管理検討委員会（仮称）」を設置し、個別施設計画の原案をまとめ、今後の公共施設の基本的な方向性を示していく。国道403号については「小布施町国道403号新しい市庭通りを創生する会」に関わる予算を予定しています。

A

これまで行ってきた住民主体の町づくりそのものを進めることで、地域本来の姿の紹介につなげ、知的好奇心の高い皆さんの探究心を満たせることになげたい。経済産業省とコンシェルジュとの連携については、北斎と鴻山という、町にしかない魅力を発信いただけるものであり、地域本来の姿と重ねあわせ情報発信につなげる取り組みを進めます。





中村雅代議員

中学生の部活動の在り方は

池田教育次長

部活動改革推進に向けた 特別チームで検討します

Q

県は中学生期のスポーツ活動の現状と課題を踏まえ、「今、中学生期のスポーツ活動に携わる者が有効な手立てを講じなければ、生徒の健全な心身の発達や将来の本県のスポーツ振興に、ひいては県民の健康維持に大きな影響を与えかねない」との危機感を抱き「長野県中学生期のスポーツ活動指針」を平成26年に策定。いわゆる朝練の原則廃止である。全国の教育関係者に波紋を呼んで3年半。その後アンケート調査を実施し約8割の学校が「原則廃止」と回答した。一見、県教委の指針が広く浸透しているように思えるが実態は多くの学校が「自主活動」といった名目で存続しています。

そこで小布施中学校の部活動に関する考え方を伺います。

- ①県教委の指針をどう捉えているか
- ②実態はどうか

◆大会1か月前の自主練習を認めているようだが大会が多く休みなしの通年になると聞いているが

- ③生徒の体調管理はどうか
- ◆授業に支障が出るほど疲れが取れない生徒もいるが
- ④指導、運営についてはどうか
- ⑤教職員の負担軽減ははかられているのか

A

平成26年12月に全校生徒とその保護者を対象に実施した「部活動・生活習慣アンケート」を実施し結果を踏まえつつ、県の指針に準拠した「小布施中学校部活動の指針」を策定し、適切な部活動を推進しています。学校長の許可を得たうえで、生徒や保護者に十分な説明を行い理解を得ることとし指針に示された総活動時間の範囲で行うこととしております。平日に1日、土日に1日の休養日を設けています。

Q

そもそもこの指針策定は「長時間にわたる部活動により中学生の生活がバランスを欠いたものになっていること」「部活動への負担感から部活動への加入率が低下した」ことなどの課題が背景にあります。本人の意思尊重だからと休みなく自主練習を続けて良いのか。指針の基準にある通り疲労の蓄積を抑えて練習の効果を高めるためにも休養が必要で

A

部活動は学校教育の一貫であるが、そのものについては明記がなく生徒にとっても不明確であります。指針を十分尊重し学校長、顧問と、一人ひとりの生徒の体調に応じ疲労回復やけが防止に配慮します。また、小布施学園コミュニティスクールにおいても検討し、しっかり取り組みます。

Q

栗が丘小学校の卒業生が進学する長野市内の中学校



ボールに集中 男子チーム

A

委員会と共に今後の部活動運営の在り方を検討し、新たな方向性を打ち出そうと取り組みを始めました。生徒の希望が叶うよう早く進めていきます。



架け替えか補強かの検討時期に来ている小布施橋

Q

さる8月10日、須坂市メセナホールで千曲大橋県道建設促進期成同盟会が開催されました。

この運動は昭和51年にスタートし、平成24年には県知事に要望書



川上健一議員

千曲大橋建設と小布施橋の補強について

畔上建設水道課長

千曲大橋については早期実現・小布施橋については橋梁架け替えを第一要望で取り組む

が提出され、同年県議会に陳情書が提出され、採択されました。

しかし千曲大橋の建設がなかなか進まない中、町にとって小布施橋は千曲川を渡ることの出来る唯一の橋である。ただ問題点として、幅が狭く、渋滞も発生している。また来年、築50年となり、老朽化が進んでいます。

①小布施橋の架け替えか補強かの検討時期に来ていると思うが、町として県や関係機関に要望していくのか。

②千曲大橋建設がなかなか進まないが、須坂市・高山村との連携はもろろんだが、中野市・山ノ内町も巻き込み、もっと強力に進められないか。

A

①小布施橋については、道路幅員が狭く、また、渋滞も発生していることを踏まえ、橋梁架け替えを第一要望としています。架け替えが難しい場合には、補強にならざるを得ないとも思っ

ています。

②千曲大橋県道建設促進については、期成同盟会として活動しており、今回いただいた議員の提案を幹事会で話をし、検討していければと考えています。

今後も早期実現に向け、本期成同盟会構成市町村と連携し、関係機関への要望活動などに取り組んでいきます。

獣害対策について

富岡産業振興課長補佐

捕獲対策を進めている

Q

最近、イノシシあるいはハクビシンによると思われる農作物への被害が増えてきております。

ある農家のお宅ではイノシシによるものと推測されるシャインマスカットの被害が100房ほどに上るとのお話、また別のお宅では、ハクビシンではないかという事で

やはり2000房ほどの被害に遭われたとのこと。他にも何人かの方が被害に遭われたと聞いております。

①被害に遭っている農地の周辺にはイノシシやハクビシンの住処となっている遊休荒地等があり、土地所有者に対し荒地地の改善に向けた指導が必要だが、町の考えは。

②クマやカモシカは松川の川伝いに下流へと下ってきているものと考えます。これらの被害対策には小布施町単独では対処できず、須坂市・高山村と連携しクマやカモシカが川を下って来ないよう対策をとる必要があるが、町の考えは。

A

①一概に荒地地が野生獣の住処とは言えない中で、捕獲対策を進めています。荒地地については担い手への利用集積も含め、適正な管理をお願いしています。

②クマの目撃情報や松川苑周辺で相次いでいる。須坂市・高山村と情報を密にし、須坂地籍として捕獲可能な設置しています。カモシカは特別天然記念物であり、捕獲できなく、害は及ぼさない生き物であり、山に戻るよう追い払いを行っています。



小林正子議員

高齢になっても安心して住みつづけられる小布施町に 社会保障・福祉の本筋から対策を考えてほしい

林健康福祉課長補佐

地域住民が我がことと考え
担ってもらえる態勢づくりを進めます

Q 高齢者が安心して住み続けられる町は、赤ちゃんにも、子どもにも、若者にも住みやすい町です。今、2025年問題と声高に言われておりますが、独居高齢者、高齢者のみ世帯が増加している。安倍首相がやっていることは「介護サービスの削減」でこの方たちが病气や介護が必要になったとき、町の対応はどうか。

A 生活支援コーディネーターが中心となり、NPOやボランティアによる通所型や訪問型サービスを創設して軽度者への支援を図り、中度以上の方には、介護保険と町独自のサービスを組み合わせて支援していきます。

Q お茶のみサロン等、高齢者の居場所づくりが自治会役員や老人クラブ支部のみなさんの努力で自治会公会堂で実施されていますが、これから広がっていくための課題は。

A ターが中心となり、NPOやボランティアによる通所型や訪問型サービスを創設して軽度者への支援を図り、中度以上の方には、介護保険と町独自のサービスを組み合わせて支援していきます。



“健康で長寿”を合言葉に活動する老人クラブのみなさん

います。

Q 高齢者や障がい者の見守り、特に要介護状態や認知症になった方への支援を。介護に携わる家族はホットできる機会を欲しています。対応はいかがか。

A 認知症高齢者を地域住民みんなで見守る態勢を整えていくために、多くのみなさんがサポーター養成講座を受講するようPRしていく。認知症カフェがボランティアを中心にオープン

高齢者の免許返納に対策を

西原企画政策課長

公共交通会議で慎重に検討しています

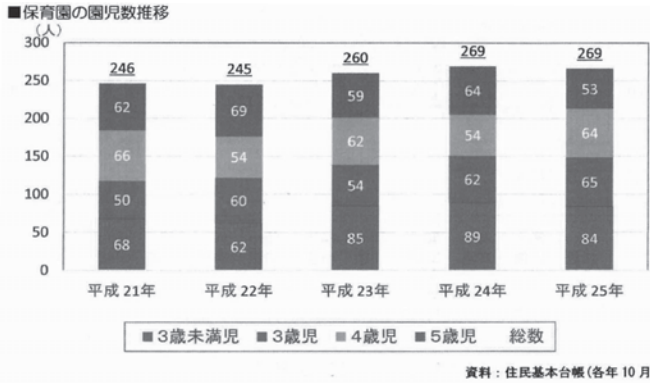
Q 町民向けの公共交通手段がなく。加えて、高齢者の免許返納の動きもあり、自家用車がなければ、通院・買い物も困難になります。高齢住民が気軽に外出できる対策を求めます。

A 町公共交通会議で専門家も加わり議論しています。75歳以上の方千人のアンケートを分析し、町民のみなさんご意見を伺い、慎重に議論し、小布施にあった地域交通を考えていきます。

した。認知症の方と家族に気軽に、居心地のいい時間を過ごしてもらいたい。誰でも参加できるカフェを他の場所でもできるように、ボランティア育成に取り組んでいきます。

Q 自分や家族、隣近所の手に負えなくなったときに社会保障が必要になり、憲法は自治体や国にそれを義務付けています。ところが昨今、福祉が削減され、地域や家族でやるものと、逆転の押しつけがあります。町は福祉の要望をどう考えていますか。

A 地域包括支援システムを構築し、町民が我がこととして関って、福祉を支えあう地域にしていくと考えています。



資料：住民基本台帳(各年10月)

小布施町は働きながら子育てしている家庭が多い。行政による環境整備が必要

Q 先の衆院選では「子ども子育て」に関して様々な公約を掲げていただきました。日本では1980年に出生率が1.75と大きく2を割り込んだことから将来的な人口減少が見込まれています。少子化により、年金などの社会保障費用に係る現役

世代の負担の増大、若年労働力の減少等による社会の活力の低下等の影響が懸念されていました。こうした状況を踏まえ、1994年に「厚生労働省エンゼルプラン」、2001年に「健やか親子21」、2015年に「子ども・子育て支援新制度」施行と少しずつではありますが、子どもを産み育てやすい環境整備。また女性が社会進出していくための環境整備を進めてきています。

A ①全ての事業を計画に盛り込み、支援サービスとして位置づけています。13事業の中で10の事業については既に積極的に取り組みを実施しています。

②平成27年度0歳児33人、1、2歳児108人。平成28年度0歳児33人、1、2歳児109人。平成29年度0歳児32人、1、2歳児108人。平成28年度・平成29年度の実績は定員に対していずれも不足とはなっていません。

③交付金の創設に伴い新たに実施した事業はありません。地域子ども・子育て支援事業として位置づけなくとも、様々な取り組みを実施しています。

④小布施町子ども・子育て支援の取り組みを周知できるように、ホームページに限らず様々な手段を検討していきます。

小布施町子ども・子育て支援計画の周知を

池田教育次長

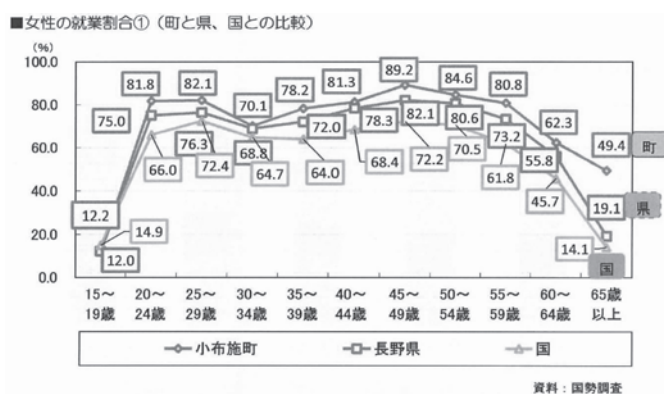
ホームページには概要版も合わせ今月中に掲載
また情報発信 情報提供の手段の検討をします

①全ての事業を計画に盛り込み、支援サービスとして位置づけています。13事業の中で10の事業については既に積極的に取り組みを実施しています。

②平成27年度0歳児33人、1、2歳児108人。平成28年度0歳児33人、1、2歳児109人。平成29年度0歳児32人、1、2歳児108人。平成28年度・平成29年度の実績は定員に対していずれも不足とはなっていません。

③交付金の創設に伴い新たに実施した事業はありません。地域子ども・子育て支援事業として位置づけなくとも、様々な取り組みを実施しています。

④小布施町子ども・子育て支援の取り組みを周知できるように、ホームページに限らず様々な手段を検討していきます。



資料：国勢調査

子どもが減っても、3歳未満児が5年で24%も増加している。今後の更なる確保が必要では

第1節 計画内容の周知

本計画を町民へ広く知って頂くため、広報誌やホームページ等の広報手段を活用します。「家庭と地域で育む小布施っ子」を基本理念としてあげており、次世代育成は、地域全体の課題として、住民と行政が一体となった施策を展開していく必要があります。また、計画推進に関わる組織や住民に対しては、町全体で気運を盛り上げていくような施策を検討します。

子ども・子育て支援事業計画【第7章】「計画の推進に向けて」では「広く知って頂くため、広報誌やHP等の広報手段を活用」とあるが、今まで周知がされなかった。12月末に概要版のHP掲載がやっとなされた。

特集 **聴文傍想** **栗ガ丘小学校6年生**

平成29年12月7日、8日に、6年生が授業の一環で小布施町議会の一般質問を傍聴、皆さんメモを取りながら真剣に傍聴していました。紙面の都合で、ごく一部ですが感想文を掲載しました。

6の1 伊藤 桃子

町議会を見学しての感想は、町のためにいろんな事を話し合っているんだなと思いました。質問を2つしているところを見ましたが



6年1組の皆さん

それに町のことをこうやって決めていたんだなと思ったし、町のことをこうやって考えてくれる人もいるんだなと思いました。質問者持ち時間が30分というのにもびっくりしたし、

とにかくびっくりすることや、初めて知ることがたくさんあった見学でした。今回、思ったことをまとめると、町議会は町の人たちのことをすごくしっかりと考えているんだなと思いました。

6の1 佐藤あいり

私は今日、役場に行つて小布施町議会を見学しました。中に入ったらくさんの人がいました。とてもいいねいにしゃべられていてすごいなと思いました。それにびっくりしたことがありました。それは、会議をする時間が

決められていたことがびっくりしました。

あと、全ての席に、マイクが1つついてありました。聞いているだけの人もいたし、メモしながらきいている人もいました。

しゃべったりする時、全くんちようしないでしゃべられていてとてもすごいなと思いました。国会議事堂とは、またちがつて小布施町議会の人は、とてもすごくてすばらしいと感じました。

短い時間だったけど、小布施町議会のように分かったのがよかったです。

6の1 米沢 早智

私は、十二月七日に町の町議会の見学しました。町ではこんな議会が開かれているんだということがよく分かりました。

とても難かしい話をしていたくさんの人たちが話し合いをしていました。質問をする人の質問内容を聞いていたのですが、難しくて何のお話をしているのかよく分かりませんでした。でも北斎の絵のことについて話をしているということが分かりました。

そして、町ではこんな議会が行われていたんだということを今日始めて知りました。たくさんの人が町のことでこんな議会をしていることにもとてもおどろきました。



6の1 山岸 吏輝

ぼくは、12月7日に町議会を見学させてもらいました。

町議会では、三十分だけ見学させてもらって最初の議員さんの質問を聞かせてもらうことができました。一番初めの質問は「財政硬直化の要因と行政サービスに及ぼす影響は」という質問でした。相手につたわるようにしっかりと話していてすごいなと思いました。二つ

目の質問は北斎の祭り屋台二基を重要文化財にして岩松院天井絵を県宝になぜしないのかという質問でした。あまりわからない所もあったけど北斎の作品を重要文化財にしたいという思いがよくわかりました。

質問する人が相手に伝わるように質問の理由などをしっかり伝え



ていてとてもすごいなと思いました。

6の2 青木 優佳

私は、役場で行われている町議会をみて、小布施町のことにについて話し合いをしていることを知りました。

これまでは、町議会

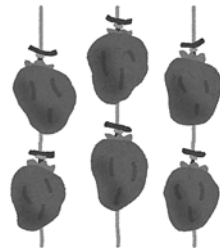


6年2組の皆さん

をやっていることは知らなかったので小布施町のことを考えて会議をしていてびっくりしました。質問をする人と質問に答える人は、自分の意見をしっかりとまとめて言うていてすごいななと思いました。会場は、とても静かで発言する人のところをよく見てきいていて勉強になりました。あたりまえのことだけど、あいさつをしたら一人ひとりが声をだしてあいさつを返してきて私もまねしていきな

いと思いました。

町議会では、小布施町をよりよくするために会議をしていることを知ることができて良かったです。



6の2 小渕 彩乃

私は町議会を見学して感じたことは、会議をしている人は、小布施をもっとよりよくしていこうという思いがあることです。

感じた理由は、まず会議が10時から始まり20分以上、同じ質問内容でずっと質疑応答をしていて、私は、1つの質問内容は長くて10分位いだと思っていたけど、全然ちがかった



のでびっくりしました。

私たちが見学していた時に聞いていた内容は、家庭での養育でした。内容は、なんとなくしか分からなかったけど、小布施をよりよくしていこうという思いが伝わってきました。私が将来、小布施町で子育てをするときは、保育園に入る家庭も、家で自ら子育てをする家庭も、笑顔でくらす小布施が続いてほしいと思います。

6の2 嘉門 蒼太

自分が、町議会を見学して思ったことは、みなさんそれぞれ、住民のことを考えて話し合っているのだと思いました。

話し合いの内容を見ると、子育て支援についての内容でした。その質問も、今、どのように支援をしているのか、ということでした。子育てということは、とても大切なことだと思っています。そして、なぜそのような住民のことを考えた話をするのか、自分は考えました。議員のみなさんは、国民の代表だと学校で学びました。国会の委員会などの様子を見ると、日本や国民のことを考えて話していました。議員の方は小布施の代表です。だからこそ、この町や住民のことを考えて話していると感

じました。これからも、町民の代表として、がんばって欲しいと思いました。

6の2 吉村 心真

ぼくは、町議会を見学して、議会で、議員のみなさんが、小布施町のことをすごく考えていて、とても心に残りました。議会で、議員さんが、一言もしやべらず、発言者の方に耳をかたむけていて、はじめがついていると思います。ぼくもそんなふうに、一言もしやべらず、発言者の発言をききたいです。あと、質問者には、三十分の持ち時間があると初めて知りました。質問者は、一時間、二時間と質問していると、今までは、思っていたけど、三十分の時間だけしかないんだと、おどろきました。

議会の話し合いで子育ての支援について将来ゼロ才から3才まではすべて無償化になってほしいと思いました。あと、父親とせつする時間を増やすことを実現してほしいです。



6の3 室伏 祐李

私が町議会見学してすごいと思ったことがあります。一つ目は、役場の中にあんなにりっぱな議場があることです。そして二つ目は、町長さんやいろんな方が、小布施町のこれからのことについて話し合っているすごいと思いました。小布施町の予算のことや、インバウンド受入れについて話し合っているです。

よかったです。最初聞いていたら全然分からなかったのですが、どんどん聞いていくうちに分かっていきました。帰る時に、もう少し話を聞いていたいなあと感じました。特に印象に残っているのは、外国語でのガイドのことです。いろいろ考えていてすごいと思いました。とても良い勉強になりました。議会で話し合っていて、良い小布施町になればいいなと思いました。



や、教育委員会の方もいてもっと緊張しました。

私は、投資予算という言葉や、財政調整基金などの議員の方からでてくる一言一言の言葉を辞書でひきたくなるくらい正直、分かりませんでした。でも私が何気なく住んでいる小布施町を支え、つくってくれている議会や議員のみなさんに感謝の気持ちが出てきました。だから、これからは積極的に学校の話し合いにも参加していきたいです。

6の3 酒井 路花

私は小布施町の議会を見学して、小布施町のために小布施町を良くしようと積極的に意見を出したり質問をしたりしてとてもすごいなと思いました。私は意見を出したりす

るのが苦手ですが議会を見学させてもらい、みんなのためになることは積極的に活動しよう。そう思いました。他にも質問する人や、それに対して答える人などがおたがい分かりやすいように話しや質問などをしていたので小布施町をよくしようという町長さんや役場の方、などの思いがすごく伝わってきました。この議会を見学して小布施町の良さなどがさらに見つかったと思います。時間が短かくてもう少し質問や意見を聞きたいと思いました。が、小布施町の議会を見るとという貴重な体験ができてよかったです。

6の3 町田 遥

ぼくは議会を見学してこんなにむずかしく大変な会議をずっと町のためにやってくれて

いて、すごいと思いました。話がすごくむずかしく、どこからメモを取り始めたらいかわからなかったけど、ずっときいているとだんだん意味がわかってきて、どれも町のための話をしていることがよくわかり、メモもたくさん取れました。よくわかったことが、2020年に向けてどんな外国人が増えてくるという話でした。小布施町には北斎の絵を見に来る人が多くなり、そのためにどういう取り組みをするかがぼくもよくわかりました。ぼくたちが知らないところでこんな町の大切な会議をやっているなんて知らなかったし、知れてよかったな、と思います。



議会議員一同
町議会議員一同
昨年の12月7日と8日の2日間、3クラス98名の皆さんが議会傍聴に訪れました。
質問内容は、「財政硬直化の要因と行政サービスに及ぼす影響」、「祭り屋台二基を重要文化財に・岩松院天井絵を県宝に」、「すべての子育て家庭への支援を」の3点で、なかには難しい言葉などもあったと思いますが、皆さん、とても熱心にメモをとりながら聞いていました。後日、その感想をお聞きすると、大変よい学習であったとの声が多くありました。これからもいろいろな学習や体験を通して、自分の夢、クラスのこと、小布施町の未来のことなどを考えていて欲しいと思いました。



6年3組の皆さん

6の3 島田 侑奈
私は今まで、町の予算や条例について興味をもったことは一度もありませんでした。議場に入った時、学校で行っている児童総会は

比べ物にならないくらい緊張して、すごくおどろきました。町の予算について質問したり、経費を話し合うから私がいらない課のえらい人がいると思っていました。でも、町長さん